

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	下條歌舞伎の魅力発信プロジェクト スタート篇
事業主体 (連絡先)	下條村歌舞伎保存会
事業区分	(3)教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	969,899 円 (うち支援金: 775,000 円)

事業内容

令和2年11月23日に無観客で開催した『下條歌舞伎定期公演』時に下條保育所の年長児参加の下 歌舞伎体験『下條カブキッズ』を開催しました。

道の駅信濃路下條の休憩所スペースにポスター及びタペストリー、下條歌舞伎のパンフレットを制作し設置しました。



【下條カブキッズ発表の様子】

【目標・ねらい】

事業効果

①下條保育所のこどもにとって非日常の体験である、浴衣や下駄、和傘などを練習時から身に着けてもらい歌舞伎のセリフや所作を体験することによって非常に積極的に歌舞伎体験を行ってもらえることが出来た。年長児2クラスあったが、1クラスは保育園の行事でも発表をしたいと園児から声が出て行ったという話もあり、歌舞伎に触れた体験は子供たちに強い印象を残すことが出来、今後の後継者育成や親や祖父母も巻き込んだ歌舞伎に対する良い印象を感じてもらえることが出来たと感じている。

②道の駅PRブース及びパンフレット制作により道の駅を訪れる人などへのPRを行うことが可能となった。今後SNS等の活用も

- ①下條保育園児が歌舞伎に興味を持ってもらう取り組みを行う。
- ②下條歌舞伎を村民及び村外の多くの人たちに知ってもらう。下條歌舞伎を知ってもらう人を増やす。

※自己評価【A】

【理由】

下條保育所年長児の、目を輝かせながら歌舞伎に取り組む姿に感動しました。今後も素直な子供たちに歌舞伎を伝えていきたいと思えます。

今後の取り組み

今後の取り組みとして、保育園児の歌舞伎体験事業については、下條保育所で継続して実施していくことが可能となりました。また、他の保育園などへも歌舞伎を知ってもらうきっかけとしてカブキッズ事業を実施できたらと考えています。また道の駅のPRブースに関しては、道の駅訪問者に、下條歌舞伎を知ってもらうきっかけとして、記載したフェイスブック、YOUTUBE などへの情報発信を強化するとともに、パンフレットなども配置も継続して行っていきます。

下條村歌舞伎保存会は次年度で設立50周年を迎えます。村内に唯一現存する合原皇太神宮舞台での公演の実現を目指し、また、後継者育成のために他地域を含めた公演への出演、他団体との交流、歌舞伎ソムリエおくだ健太郎さんとのコラボなど様々な活動を実施しながら、村民及び下條歌舞伎を応援してくれる方達、下條歌舞伎保存会委員と協働しながら活動が出来ればと思っています。